

宇宙のささやき

(宇宙を駆けめぐる電波)

春のプラネタリウムの話題は”宇宙からやってくる電波”です。星と星の間のガスが出す電波、パルサーと呼ばれる小さくてとても重い星が出す電波など宇宙からやってくる電波はいろいろあります。でも、もしかすると他の生命体が出す電波がその中にまじっていないでしょうか。1960年に初めて他の生命体がいそうな星からそのような電波を検出しようという試みがなされました。

では、生命体がいそうな星とはどんな星でしょうか。まず、思いつくのは地球に似た星を探すことです。でも地球のような星は暗くて探せません。そこで、太陽に似た星を探せば、そのまわりに地球に似た星(惑星)があるかもしれません。

1960年には、太陽に似た星数個を選び電波が出ていないか探す試みが数ヶ月にわたってなされました。しかし結果は、『検出できず』でした。

そこで、今度は逆に生命体がいそうな星に向かって電波を送ろうと試みが、1974年になされました。送った通信文は右図です。これを、太陽よりず



